

TC3.1 道路の安全

委員 : 浜岡 秀勝 (秋田大学)
連絡委員 : 大橋 幸子 (国総研 道路交通安全研究室)
若手技術者 : 鈴木 大健 (道路局 道路交通安全対策室)
本省窓口 : 阿部 俊彦 (道路局 道路交通安全対策室)

TCチェア(国籍) : John Milton(アメリカ)
TCセクレタリ(国籍) : English: Auckpath Sawangsuriya (タイ)
: Spanish: Pedro Tomas Martinez (スペイン)
: French: Matthieu Holland (フランス)

1. 交通弱者の安全確保

- 交通弱者は多くの国で重大事故として取り上げられており、特に低中所得国においては顕著
- 多様な道路および国・地域を対象に実証済みの対策を調査し、望ましい方策例としてまとめる

2. 低中所得国における安全な環境構築

- 安全対策を導入できる環境は低中所得国それぞれ異なるため、段階に応じた対応が必要
- いくつかの地域・対象を取り上げて成功事例を収集し、これらをもとに安全対策を導入するためのフレームワークや指針をまとめる

3. 道路安全監査による重大事故の予防・減少

- 道路安全監査に関する既存文献のレビュー等をもとに、適切な診断・対策の導入について知見をまとめる

4. 交通安全マニュアルの更新

- 本チームでの新しい資料を盛り込んだ交通安全マニュアル(RSM)の更新し、最終的には新しいRSMの発行を視野にいれている

2. 現在の取組状況



- 先述した4つのテーマに対応して、4つのワーキングに分かれて活動を実施
 - キックオフミーティング時に連絡委員と協議した結果、日本チームはWG3.1.1(交通弱者の安全確保)に登録
 - これまで3度のweb会議を実施(3/26、6/27、11/27)
- WG3.1.1も4つのサブグループにわけ活動
 1. 交通安全キャンペーン等による交通行動、安全意識の変化
 2. 都市内外での自動二輪(原付含む)の安全対策
 3. 都市内外での自転車の安全対策
 4. 実証された安全対策の取りまとめ
- 日本チームはSG4(実証された安全対策)に登録
 - これまで、日本で実施された5つの対策を提示
 - ビッグデータに基づく交通安全対策、事故率による多発地点の抽出、ボラードの設置、スムーズ横断歩道、自転車空間の整備
 - 今後、各国のデータと照らし合わせながら取りまとめる

3. 活動予定



① 国内関係者との連携

- 国内委員会については要検討
 - 前タームまで未設置
 - 今後のTCでの活動の方向性などを踏まえ、設置の是非、組織体制等、運営方法等について検討

② 日本でのTCミーティング・セミナー開催予定

- 現時点までに決定された範囲では予定なし

3. 活動予定



③ 会議の予定(4年間のスケジュール)

時期	予定
2024年1月	キックオフミーティング(1/31-2/1)
2024年9月	TCミーティング(9/2-3)、ワークショップ(9/4)をバンコク(タイ)にて開催。TC1.1との共催
2025年5月	TCミーティング(5/12-13)、セミナー(5/14-16)をダカール(セネガル)にて開催予定。TC2.2との共催
2025年秋	開催予定(インド?)
2026年3月 (シャンブリー冬期大会)	開催予定?
2026年春	開催予定(ハンガリー? 5/18-21; TRA2026)
2026年秋	開催予定 開催国等は未定(イタリア、ウガンダ、...)
2027年春	開催予定 開催国等は未定
2027年秋 (バンクーバー大会)	TCミーティングを開催予定、セッションオーガナイズ予定